

重点分野3 (中目標)	教育、保健等の経済社会開発基盤整備、文化協力												
開発課題3-1 (小目標) 教育・保健等経済社会開発	【現状と課題】 北マケドニアの、特に地方部においては、公共サービス、教育、医療関連設備が整っておらず、地域住民は十分な行政サービスを得られないことが多い。そのため、特に教育、医療、公共サービスなどの分野における公共機関向けの設備投資を始めとする能力強化が必要とされている。					【開発課題への対応方針】 我が国の知見を活かしながら、地域住民の生活の質の向上を目指す。その際、特に教育・医療・公共サービスなどの分野での公共機関の能力強化に重点を置いた支援を実施していく。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	地域レベルでの 民生安定化 プログラム	異なる民族の共存や少数民族の生活改善にも留意しつつ、主に草の根・人間の安全保障無償資金協力や技術協力を通じて、COVID-19対策を含め、地域レベルでの民生安定化に向けた協力をを行う。	経済社会開発計画	無償	2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	1.00	3	
			医療・教育分野の研修	課題別研修他								3,4	
			医療関連感染予防・管理	国別研修									3
医療・教育分野等における草の根・人間の安全保障無償資金協力			草の根無償									1.10	3,4

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「——」（＝実施期間）、破線「- - - -」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf